

鶺鴒川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～鶺鴒川流域を水害から守るため、流域の関係機関が一体となって取り組む防災・減災対策～

○ 鶺鴒川水系では、昭和60年などに水害が発生しており、気候変動の影響による今後の降雨量の増大と水害の激甚化・頻発化に備えるため、集水域から氾濫域にわたる流域の関係機関が一体となって「流域治水」による防災・減災対策に取り組む。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 樹木伐採、河道掘削 等
- ・ 管理河川の浚渫
- ・ 砂防関係施設の整備
- ・ 森林整備
- ・ ダムにおける事前放流等の実施

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・ 浸水リスク情報の充実（浸水想定区域図の作成）等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 水位計、河川監視カメラの活用・増設
- ・ 洪水ハザードマップの周知
- ・ マイ・タイムラインの作成促進

石川県

- ・ 河道掘削、樹木伐採 等
- ・ 浸水リスク情報の充実
- ・ 水位計、河川監視カメラの活用・増設
- ・ マイ・タイムラインの作成促進

珠洲市

- ・ 管理河川の浚渫
- ・ 森林整備
- ・ 洪水ハザードマップの周知
- ・ マイ・タイムラインの作成促進

【位置図】



森林整備
(石川県、森林整備センター)



森林整備 (県、森林整備センター)

芦谷川

小屋ダム (県)
・ 事前放流

小屋ダムにおける事前放流等の実施(石川県)



砂防関係施設の整備 (県)

砂防関係施設の整備 (石川県)



水位計・河川監視カメラの活用・増設 (石川県)



磐若川での設置事例

鶺鴒川における河道掘削、樹木伐採 (石川県)



森林整備 (珠洲市)



凡 例

- 想定氾濫区域
- 県境
- 市町境
- 水系

※ ○○川 は、県管理河川の代表的な箇所（河川）を示したものである。
※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

鵜飼川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～鵜飼川流域を水害から守るため、流域の関係機関が一体となって取り組む防災・減災対策～

- 鵜飼川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、関係機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 鵜飼川などにおいて、河道掘削、樹木伐採等を実施する。また、水位周知河川以外の小規模河川について、洪水浸水想定区域図及び洪水ハザードマップを作成する。
 - 【中長期】 短期に引き続き、河川対策、流域対策を推進し、流域全体の治水安全度を向上させる。また、洪水ハザードマップの周知やマイ・タイムラインの作成、要配慮者利用施設等における避難計画の作成・訓練実施の促進などにより、避難体制の強化を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、樹木伐採 等	石川県	→	
	管理河川の浚渫	珠洲市	→	
	砂防関係施設の整備	石川県	→	
	森林整備	石川県・珠洲市・森林整備センター	→	
	ダムにおける事前放流等の実施	石川県・珠洲市	→	
被害対象を減少させるための対策	浸水リスク情報の充実	石川県	→	県：小規模河川における洪水浸水想定区域図の作成 (R5出水期前)
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計・河川監視カメラの活用・増設	石川県	→	
	被害軽減対策の実施	石川県・珠洲市	→	市町：小規模河川におけるハザードマップの作成

気候変動を踏まえた更なる対策を推進